

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [23] 東京都台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人台東区社会福祉事業団 指定期間 H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	あさくさ・やなか・うえの高齢者在宅サービスセンター
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2,557,487,339円, 歳出2,553,884,652円, 収支差額3,602,687円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区三ノ輪1-27-11
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 9,617㎡のうち2,002㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など
(6) 人員体制	16名 内訳…事務員(1)、介護職員（常勤5、非常勤7）、看護職員（3）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等）②介護予防通所介護・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	負担金	54,139,000	41,410,000	30,259,000	7,244,000	2,114,000
	料金収入等	174,205,000	177,373,000	164,052,000	192,625,000	234,122,000
	管理経費	228,344,000	218,783,000	194,311,000	199,869,000	236,236,000
決算	負担金	27,254,278	26,056,883	13,247,453	7,244,000	2,114,000
	料金収入等	181,947,034	181,523,702	207,981,188	228,350,487	260,890,915
	管理経費	193,848,195	189,035,038	183,148,991	189,066,818	235,960,145
	収支	15,353,117	18,545,547	38,079,650	46,527,669	27,044,770

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	311	311	311	311
定員（一般デイ）	人	40	40	40	40
定員（認知デイ）	人	12	12	12	12

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率（一般デイ）	%	95.0	86.4	84.6	93.8
利用率（認知デイ）	%	90.0	84.8	82.7	84.7

7. 前年度からの取組

利用者一人ひとりのニーズに対応できるよう、個別浴槽の設置など行いサービスの向上を図った結果として利用率が向上している。

8. 評価項目 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[3]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[3]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	個別浴槽の設置により、利用率の大幅な増加につながっている。利用者の要望を取り入れ、サービスの向上を図り、良好な事業運営がなされている。
(2) 施設の維持管理	A	清掃等、建物設備維持管理は概ね適切に行われている。
(3) 利用者の満足度	S	個別浴槽の設置に伴う入浴サービスの実施などニーズに即したサービスの提供により利用率が大幅に増加しており、満足度の高い施設運営が行われている。
(4) 歳入歳出	A	区からの指定管理料を縮減するとともに、料金収入の増加を図っている。今後は管理経費の縮減に取り組んでいく必要がある。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	利用者のニーズに即した取り組みにより、利用者の満足度が高まるとともに、高い利用率により、料金収入が増額しており、良好な施設運営がなされている。
-----------	---

11. 評価結果への対応

施設の維持管理については、年度途中で委託業者が契約辞退をしたが、新たな委託業者と契約し、問題なく維持管理を行っている。施設については、設立から16年が経過しており経年劣化が進んでいるため、計画的に設備保全を行っている。
 今後も更なるサービスの向上と更なる管理経費削減の取り組みが求められる。